第２３回全国児童生徒地図優秀作品展受賞者及び作品の紹介

国土交通大臣賞

「知っとう？神戸の土砂災害　わかりやすい立体ハザードマップ」

兵庫県神戸市立美賀多台小学校　６年　桐谷　友（きりたに　ゆう）

作品主旨文

僕の住んでいる神戸市は、山と海が近く、今までも多くの土砂災害があったことを知りました。神戸市のハザードマップを見てみると思った以上に多くの危険予想区域があり、とてもおどろきました。どのような場所で、どんな危険があるのか調べたことを立体地図にして、それにハザードマップで危険を予測されている場所に色をぬったり、シールで印をつけたりして、たくさんの人に知ってもらえるような立体ハザードマップを作りました。

講評

平面のハザードマップに比べて、六甲山中を屏風のように立てることによって危険な所が直に伝わる意欲的なハザードマップである。

洪水、土砂崩れ、地滑りなどの危険個所の色分けの表現方法が上手い。

情報を空間に落とし込むという点で、その結びつきが最もうまくできている。立体にすることに意味のある作品となっている。

縮尺と方位がきちんと書いてあるのもよい。

文部科学大臣賞

「私たちの手で地球を救おう　～すごいぞ！小水力発電～」

富山県富山市立堀川小学校　６年　荒井　奏音（あらい　かのん）

作品主旨文

私は、総合的な学習の時間で「立山研究」に取り組み、立山に生息する雷鳥が地球温暖化の影響で年々減っていることを知りました。そんな中で、富山県の地球温暖化防止に向けた取組について調べました。特徴的な取組の一つが小水力発電です。農業が盛んで高低差のある地形が小水力発電に適していることを立体地図で表現しました。作品づくりを通して、地球温暖化防止に向け、身近なことから自分にできることに取り組みたいと思いました。

講評

富山県の立体感のある地形がよく表現されており、水力発電の適地であることがよくわかる。

他県と比べて富山県の河川がいかに急勾配であるかを縦断面図にするなど非常に工夫が見られる。

高度段彩も分かりやすく色彩もきれいである。

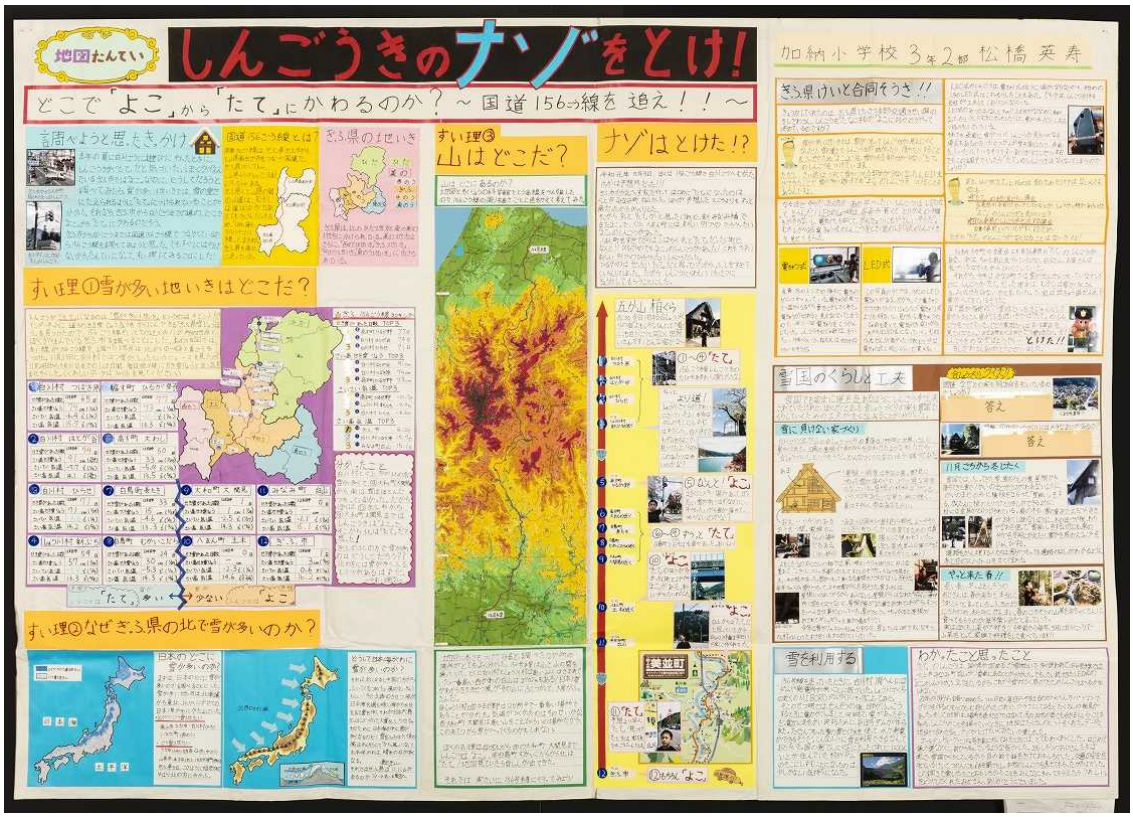
大きな枠組みとして地球の環境のことを背景に置き、その中で自分の地元をとらえている。

生きものにも目を向けている点も評価したい。

審査員特別賞

「しんごうきのナゾをとけ！」

岐阜県岐阜市立加納小学校　３年　松橋　英寿（まつはし　ひでとし）



作品主旨文

去年の夏、白川郷へ行ったときにしんごうきが「たて」についていることに気づきました。調べてみると、雪が多い地域で「たて」につけられていることが分かり、冬の間、白川郷までの 12 ヶ所の気温とせき雪を調べて、地図でどんな場所かをイメージしてから、確認をしに行ってみました。結果は予想外だったけど、たんていになった気分がして楽しかったです。雪国でくらす人や交通を守る警察の人の話も聞けて勉強になりました。

講評

信号機の縦横という観察による発見に着目し、野外調査や文献調査を通して追究する活動が評価される。

調査結果を地図に表現して考察する過程に努力の跡が見られる。

審査員特別賞

「世界の朝ごはん」

滋賀県湖南市立石部小学校　６年　米崎　暖翔（よねざき　はると）

作品主旨文

ラグビーをしている自分自身がご飯をたくさん食べ、食事を大切にしていることから着想し、食事の中でも特に大切だと考えている朝食を題材にした。昨年度出品した、日本の食事を調べた「全国うまいもんMAP」に引き続き、世界ではどんな朝ご飯を食べているのかを調べることに挑戦した。

講評

世界各地の朝食を眺めると、食材や調理方法、提供の仕方などから各地の自然環境、文化や生活習慣が推測される。

分布を大観し地域区分を考えて見るなど地図作品の活用を深めたい。

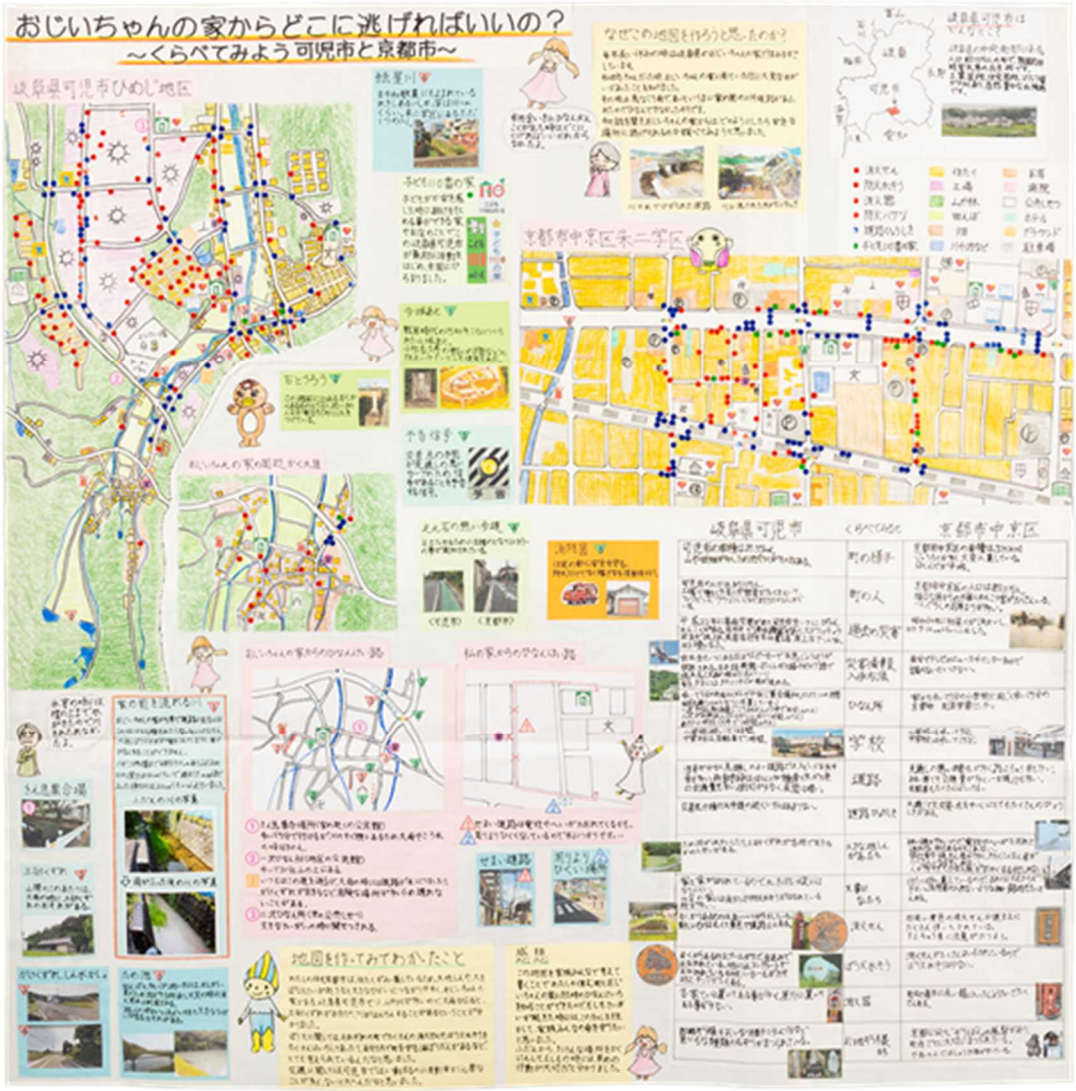
奨励賞

ダムの底に眠る町　滝里 北海道札幌市立二十四軒小学校	６年	長谷川　佳音（はせがわ　かのん）
地図模型「利尻」 宮城県仙台市立第二中学校	１年	細目　成美（ほそのめ　なるみ）
つくばタイムスリップ　～小学校の人口を追え～ 茨城県つくば市立島名小学校	５年	岩田　明香里（いわた　あかり） 谷山　和輔（たにやま　あいすけ） 中川　航（なかがわ　こう） 安岡　賢之介（やすおか　けんのすけ）
永山駅周辺の歩行者信号 東京都多摩市立北諏訪小学校	６年	松本　葵（まつもと　あおい）
おじいちゃんの家からどこに逃げればいいの？　～くらべてみよう可児市と京都市～ 京都府京都市立朱雀第二小学校	４年	山下　さくら（やました　さくら）
じんとりよの古墳探検大冒険マップ 兵庫県赤穂市立有年小学校	５年 ３年	陰山　莉世（かげやま　りよ） 陰山　仁（かげやま　じん）
鳥取の給食はおいしいがいっぱい！　～食材の産地☆たん検発見ＭＡＰ～ 鳥取県鳥取市立美保小学校	５年	細野　楽夢（ほその　らむ）
身の周りの地形を理解し危険を知ろう！ 広島県立広島井口高等学校	２年	森　綾音（もり　あやね）
吉野川とその支流 徳島文理中学校	１年	櫻井　陽菜（さくらい　はるな）
肥後街道　～五日間の旅路～ 大分県大分市立明野北小学校	６年	藤原　真子（ふじわら　まこ） 藤原　実子（ふじわら　みこ）

奨励賞

「おじいちゃんの家からどこに逃げればいいの？～くらべてみよう可児市と京都市～」

京都市立朱雀第二小学校　４年　山下　さくら（やました　さくら）



作品主旨文

私が生まれた年に祖父の家で急な豪雨があり短時間で川や道路に水があふれ避難できなかったという話を聞きました。私の住む京都市は住宅が密集しており、大地震や大規模火災が起きると大きな被害につながりやすく、祖父の家がある岐阜県可児市では山や川が多く、大雨が降ると土砂崩れや川の氾濫が起きやすい事がこの地図を作ることによりわかりました。普段から危険な場所を確認して、もしもの時は早めの行動が大切だと思いました。

奨励賞

「じんとりよの古墳探検大冒険マップ」

赤穂市立有年小学校　５年　陰山　莉世（かげやま　りよ）
３年　陰山　仁　（かげやま　じん）

作品主旨文

赤穂市には、３００基の古墳がみつかっています。一番古い古墳は、放亀山１号墳です。私たちの住んでいる有年地区以外の赤穂市の古墳・遺跡を調べました。一番大変だったことは、古墳や遺跡の写真をとりに行ったことです。山を登ったり、たくさん歩いたりしました。マップの下に表を書いて、わかりやすくすることを工夫しました。